

	50ベクレル/kg以下	50ベクレル/kg超 ～ 100ベクレル/kg	100ベクレル/kg超	超過割合 (%)
平成26 年産	1,086万	14	0	0%
平成25 年産	1,104万	817	28	0.0003%
平成24 年産	1,037万	2,095	84	0.0008%
平成23 年産	25,063	809	592	2.24%

平成27年1月26日までに厚生労働省及び自治体が公表したデータに基づき集計。

農林水産省「農林水産現場における対応」より作成

農林水産省

米については、2011（平成23）年産米において、一部地域で放射性セシウム濃度の高い玄米が見られましたが、その後2012（平成24）年産以降は、吸収抑制対策などの取組の効果により、基準値である100ベクレル/kgを超過した割合は年々減少し、2014（平成26）年産は2015（平成27）年1月末まで、基準値超過はありませんでした。

具体的な米の吸収抑制対策については次のページをご覧ください。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2014年3月31日

：2015年3月31日

本情報は事故当時（2011年）～2014年度の情報です。

関連 Q&A

- ・4章 QA3 農林水産物の安全性を確保するためにどのような取組がとられているのですか
- ・4章 QA87 米の安全性は、どうなっていますか